

肱川（野村ダム下流域）におけるタイムライン（防災行動計画）【暫定版】

【第1版】令和元年5月29日時点

※本タイムラインはあくまでも目安です。タイムライン通りにならない場合もあります。

時間(目安)	警戒レベル	河川の情報 (荒瀬観測所の水位)	ダムの情報	気象情報	松山地方气象台	国土交通省 (野村ダム管理所)	愛媛県 (西予土木事務所)	西予市	消防署	警察署	消防団	自主防災組織	住民(地区)
72h	1			・愛媛県気象情報(随時) ・台風予報(強度・進路) ・早期注意情報(警報級の可能性)	・台風説明会 (県のTV会議システムからの中継)		情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	災害への心構えを高める
24h	2~3			・大雨注意報(土砂災害) ・洪水注意報 ・洪水警報の危険度分布(注意) ・土砂災害に関するメッシュ情報(注意)	・防災メール 電話による気象解説 (能動的・受動的)		情報収集	災害対策本部・現地対策本部設置 避難所開設 避難準備・高齢者等避難開始発令	災害対策本部・現地対策本部参集 消防指揮本部設置	情報収集	情報収集 災害対策本部(団三役) 指示により自宅待機(団員)	情報収集 避難者受付	避難に備え自らの避難行動を確認する 高齢者等は立退き避難、その他の者は避難準備をし、自発的に避難する
12h		・水防団待機水位 2.6m					水防体制(職員参集) 水防団待機情報(河川課) 水防用資器材の準備	FAX	河川警戒	エリメール配信	災害危険箇所のパトロール	現地対策本部(方面隊長) 指示により詰所待機	
6h	3~4	・氾濫注意水位 3.7m ・避難判断水位 4.0m	・洪水貯留開始情報 ・ダム流下量300m ³ /s超(洪水調節開始)	・大雨警報(土砂災害) ・洪水警報 ・洪水警報の危険度分布(警戒) ・土砂災害に関するメッシュ情報(警戒)	電話による気象解説 (能動的・受動的)		災害警戒本部・現地警戒本部設置	FAX 避難勧告発令 ○大雨警報(土砂災害) ○氾濫注意水位 3.7m ○ダム放流量 300m ³ /s超	全職員参集 避難誘導	避難広報・誘導 交通規制 災害警備本部設置 市ヘリエゾン派遣	指示により詰所待機(全団員) ポンプ車巡回 避難の呼びかけ・声かけ	避難の声かけ 避難者受付	避難開始 指定緊急避難場所等への立退き避難を基本とする避難行動をとる
3h			・記録的短時間大雨情報 ・ダム流下量500m ³ /s超		気象庁防災対応支援チーム(JETT)派遣の調整 (松山地方気象台⇄西予市)		洪水調節開始 市ヘリエゾン派遣 避難判断水位到達情報(河川課) FAX 水防用資器材の設置及び提供	避難勧告発令 ○大雨警報(土砂災害) ○氾濫注意水位 3.7m ○ダム放流量 300m ³ /s超	避難誘導	避難広報・誘導 交通規制 孤立集落の把握などの情報収集	ポンプ車巡回 避難の呼びかけ・声かけ	町内会呼びかけ 避難者受付	全員避難 速やかに立退き避難等を行う
1.5h	4	・氾濫危険水位 5.0m	・ダム流下量1000m ³ /s	・土砂災害警戒情報 ・洪水警報の危険度分布(非常に危険) ・土砂災害に関するメッシュ情報(非常に危険、極めて危険)	電話による気象解説 (能動的・受動的)		氾濫危険水位到達情報(河川課) FAX ホットライン(土木事務所長⇄市長)	避難指示(緊急)発令 ○土砂災害警戒情報 ○異常洪水時防災操作3時間前 ○氾濫危険水位 5.0m ○ダム放流量 500m ³ /s超	避難誘導	避難広報・誘導 交通規制 孤立集落の把握などの情報収集	ポンプ車巡回 避難の呼びかけ・声かけ		災害が発生するおそれが極めて高い状況等となり、緊急に避難する
1h			・土砂災害警戒情報 ・洪水警報の危険度分布(非常に危険) ・土砂災害に関するメッシュ情報(非常に危険、極めて危険)	電話による気象解説 (能動的・受動的)	ホットライン(松山地方気象台長⇄西予市長)		越水情報の関係機関との情報共有・発信	避難誘導	避難広報・誘導 交通規制 孤立集落の把握などの情報収集	避難誘導	避難の呼びかけ・声かけ		
0.5h		・浸食、漏水 ・越水、浸水	・ダム流下量1000m ³ /s	・大雨特別警報	電話による気象解説 (能動的・受動的) 災害時気象支援資料の提供(気象庁HP) 気象庁防災対応支援チーム(JETT)の派遣		異常洪水時防災操作開始1時間前通知 警報サイレン、巡回	避難誘導	避難広報・誘導 交通規制 孤立集落の把握などの情報収集	避難誘導	避難の呼びかけ・声かけ		
0h	5	・氾濫発生 ・災害発生情報			大雨特別警報に関する記者会見		異常洪水時防災操作開始警報サイレン	避難誘導	避難広報・誘導 交通規制 孤立集落の把握などの情報収集	避難誘導	避難の呼びかけ・声かけ		既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる
発災後					電話による気象解説 (能動的・受動的) 災害時気象支援資料の提供(気象庁HP) 気象庁防災対応支援チーム(JETT)の派遣		技術支援のための職員派遣 県による応急復旧等	情報収集 関係機関との調整	救助・捜索	救助・捜索	安否確認 救助・捜索 避難所運営協力・名簿確認	安否確認 被害状況の把握	

※退避のタイミング
 ①放流量1000m³/s時には避難誘導を中止し退避
 ②異常洪水時防災操作開始30分前には退避
 ③決壊等の情報(通報)が入った時には直ちに退避

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報	情報発信源
警戒レベル5 すでに災害が発生している状況	命を守るための最善の行動をとる	NEW 災害発生情報	市町が発令
警戒レベル4	全員避難	避難勧告、避難指示(緊急)	5月29日から運用開始
警戒レベル3	高齢者 障がい者 乳幼児 などとその支援者は避難、他の住民は準備	避難準備・高齢者等避難開始	気象庁が発表
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認	洪水注意報、大雨注意報	
警戒レベル1	防災気象情報などの最新情報に注意するなど、災害への心構えを高める	警報級の可能性(早期注意情報)	

「警戒レベル」と「とるべき行動」を知ろう！

国では、平成30年7月豪雨において、避難勧告や避難指示(緊急)等の危険度の認知が低かったことや、様々な防災情報を十分に活用できなかったことから、災害発生の高まりに応じ、住民の避難行動等を支援するため、直感的に理解できる防災情報である「警戒レベル」での避難のタイミングを伝えることとしました。

※身の危険を感じたときは警戒レベルに関わらず避難してください。
 ※必ずしも段階的に、レベル1から順に発令されるとは限りません。



西予市では、平成30年7月豪雨以降「大雨注意報」で避難準備・高齢者等避難開始(レベル3)を発令する暫定運用を行っています。

【関係機関連絡先】

松山地方気象台	089-941-0012
野村ダム管理所	0894-72-1211
愛媛県河川課	089-912-2670
西予土木事務所	0894-62-1331
西予警察署	0894-62-0110
西予市消防本部	0894-62-0119
西予市消防署野村支署	0894-72-0119
西予市危機管理課	0894-62-6491
西予市野村支所総務課	0894-72-1111